そっとおとどけ

vol.15 July.2004

7月のテーマ「夏」

夏！夏休み！
学校がなくてうれしい。
というわけで？この時期、ティンとあったくしたいなぁ
やっぱりできてみました。

『竜の谷のひみつ』 大庭 桂 作 日文社 K物オ

若陽育ちのちゃん。
今年、村に住むいとこの家がダムの底にしずむ一。
町の人たちが使えるようにするためには、ダムは必要と考えるちゃん。でもそのために村の人は家を手放さなければならない…。
「水はいったいだれのもの？」
村にまつわれた竜神の伝説や村の生活を目のあたりにすることで、この疑問の答えがちゃんの中で確実に変わっていくのだった。

『僕らの夏 ―おいしいコーヒーの入れ方―』 村山由佳 著 集英社 BFム

大学生「勝利」の彼女は清楚で美しい5歳年上の「かれん」。彼女とはいとこで、わけあって一緒に暮らしている。しかし、実は本当のいとこではなかった。2人は本当の恋を大切に育んでいくが、かれんに想いを寄せる強力なライバル「中沢」の出現に、勝利大ピンチ！
夏を舞台にとてもピュアなラブストーリーが始まります。
さて、2人の恋の行方は…？（全5巻）

『風をつむぐ少年』 ポール・フライシマン 著（片岡しのぶ訳） あすなろ書房 K934

自分の起こした事故のせいで、1人の女性を死なせてしまったブレント。その家族からのたったひとつの要望がアメリカ大陸の四隅に〈風の人形〉をたてることだった。かくて夏の旅で少しずつ自分を取り戻していくブレント。文中の「人間の行為の結果は、行為者の知らないところにまで及ぶ」という言葉が、この物語をよくあらわしています。

『八月の博物館』 湯本香樹実 作 角川書店 F

小学6年の夏、ぼくの目の前に突如現れた不思議な博物館。
「すべてはきみの好奇心から始まる」
博物館で共に現れた少女と美貌紳士、そして犬。彼らに誘われるままトオルは時空を旅し、各時代の博物館と人々に出会う。
過去、現在、未来が交錯し、物語から物語へ生まれる無限のファンタジー。

『夏の庭 ―The friends―』 湯本香樹実 作 福武書店 TFユ

「死んだ人を見てみたい！」
そんな思いから3人の少年達は近所に住む、今にも死んだような老人をみはることた…。
老人との交流を通し、少年達が生と死について考え、成長していく姿を描きます。ユーモラスで、ちょっとスタンドバイミーを思い出させる作品です。

『カブトムシがほしい』 かやしん 作・絵 あかね書房 K物カ

カブトムシの目から話がたくさんでているのが楽しい。カブトムシがほしくてたまらないツトムだが、なかなかカブトムシに出会えないでいた。カブトムシの動作がかわいくて、ひとつ目に涙がいっぱい、自分も子どもにもどって、ツトムと虫かごをもっている気分になりました。

ちいさな美術館シリーズ『きらめく夏』 いわさきちひろ 絵本美術館編 講談社 K洋

いわさきちひろさんの絵から思い浮かべる「夏」は、私が普段イメージする「夏」と少し違うかもしれない。やわらかで、涼しげ。そんな優しい感じの夏。
この本の夏は雲の「きらめく夏」の通り、キラキラさわやか。
この夏はちひろワールドで絵やぬり絵したり過ごすのもいいかもしれない。

『ほんのり甘い しんやりデザート』 576.6D 加藤素毅 著 岩波書店

暑い夏といえば、やっぱりつめたいデザート。アイスクリームにつめたく冷えたゼリーやプリンなど、夏にぴったりのデザートが満載の1冊です。
中でも一番気になったのは、「冷やしくず材料」
ちょっと難しそうだけど、私のデザートもいいな。この本で暑い夏をおいしく過ごせそうです。

『霧のむこうのふしぎな町』 柏葉幸子 著 講談社 K柏カ

まちにまった夏休み。リナはお父さんの勧めで「霧の谷」に向かいます。そして車に導かれて着いたのは、ふしぎな町でした…。
子どもの頃、私もこの本を読んで、ふしぎな町へと想いをはせたものでした。
私の大好きな本です！

『WINDS OF GOD ―雲のかなたへ―』 今井雅之 著 角川書店 F小

「兄貴」と「弟夫」は血のつながらない義兄弟。今日お祭り舞台を終えて自転車に2人乗りかっ、トラックと事故を起こしてしまう。
気がつくと「ヘブン」の上。そこは日本の2月、8年以降要塞。
なぜこんなところにいるのか？疑問を抱きながらもこの時代に生きた若者たちの葛藤や交流の末に二人が出ていった答えとは？

イベントのご案内

〈7月〉 3日(土) わらべ座（よみきかせ）

※ 土曜シアターは 7/14 図書館まつり内で行います。

13日(火) 麦の子（乳幼児向けよみきかせ）

17日(土) やまびこ会（よみきかせ）

24日(土) 第3回 9:00～20:00

25日(日) 図書館まつり 9:00～17:00

（図書館の開館は 10:00 です。）

※図書館まつりの詳しいプログラムは、別紙にてご案内致しております。

7月の土曜シアター

「素晴らしき歌人生」

一生懸命に生きてきたのに全く報われない…。自殺しようかと考えていた時、一人の女人に、絶天使とめぐりあい、生きるようにと取り戻していく。

会場案内

	わらべ座・やまびこ会
〈8月〉 14日(土) 土曜シアター	もめんの会・極楽とんぼ
「グリバー旅行記」「そんごくう」	⇒お話コーナー PM2:00～
「白鳥のみずうみ」「カメ」	麦の子 ⇒お話コーナー AM10:00～
21日(土) もめんの会（マスコット作り）	土曜シアター 開場PM1:30
29日(日) 極楽とんぼ（よみきかせ）	⇒ユメニティ小ホール 開演PM2:00

ブックリサイクル Book Recycling

今年も、図書館まつり（7/14～20）でブックリサイクルを行います。ご家庭で不要になりました本を図書館へお持ち下さい。

今年はCD・テープを取り扱います。

尚、下記のものは取り扱いでできません。

（全集、百科事典、問題集、まんが、ビデオ、CD・テープをダビングしたもの）

8月の土曜シアター

「グリバー旅行記」	「そんごくう」 西かり生まれたさる、そんごくうは
船がしずんで、ひとり海に	さんどうほうしのお供をし、てんじくに向かいます。ながい
ただよったグリバーがたどり	ながい、てんじくへのみち。そんごくうたちのぼうけんの旅。
ついた国、そこは小人の国	
だった。"巨人"グリバーが	「白鳥のみずうみ」 まほうつかいに白鳥にされたオデットひめ。
王さまを助けて大かっさい。	だれかたすけるものをもうとにもんなければ、もとのすがたには
	もどれないのです。でも王子さまがあらわれて…。

休館日

7月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

8月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

■は、休館日です

7/8(日)・20(火) は図書館まつり前週のため、特別開館します。

7月の展示

「直方市立図書館の歩み」 7/1～7/25

昭和3年に建てられた直方市立図書館。当時から現在までの図書館の歩みをまとめました。

その他、図書館を支えるボランティアのみなさんの活動もあわせて展示しています。

蔵書整理の報告

7/6から7/25まで、みなさまのご協力のもと、蔵書整理を行わせて頂きました。その結果、不明資料が63点となりました。ご協力ありがとうございました。

利用者カード更新のお知らせ

利用者カードの有効期限は3年です。平成13年に登録された方は今年で期限がきれます。来館された際に、身分証（運転免許証、保険証、学生証等）をカウンターに提示して下さい。

○7月末で期限がきれるカード○

カードNo. 0003994/ までの方

ブックリサイクル Book Recycling

今年も、図書館まつり（7/14～20）でブックリサイクルを行います。ご家庭で不要になりました本を図書館へお持ち下さい。

今年はCD・テープを取り扱います。

尚、下記のものは取り扱いでできません。

（全集、百科事典、問題集、まんが、ビデオ、CD・テープをダビングしたもの）

先月担当M司書より質問

Q. もし作家になったら書きたい作品は？ タイトルは何にする？

A. SF（にちなむ）

ストーリーは未知の世界でのあらいばで、素材はありがち。タイトルは…「MOON」くらいで。

今月の担当司書

今年の今月に入ってはかりですが、すごい熱暑が大きいです（当然）暑い事は分かっていましたが、空を見上げれば、写真に収めたくなる風景はかりです。屋内で読書はかりしていないで、たまには自然と触れあうのも良いかもです。

M.N

来月の担当も新人の下です。

お楽しみに。

下司書

直方市立図書館

〒822-0034
直方市山部301-11
TEL 0949-25-2240
FAX 0949-23-3802

開館時間
平日 10:00～19:00
土日 10:00～17:00

HP http://yumenity.jp

図書館まつりのオリジナルTシャツは当日限定販売です。